

# 週間感染症情報

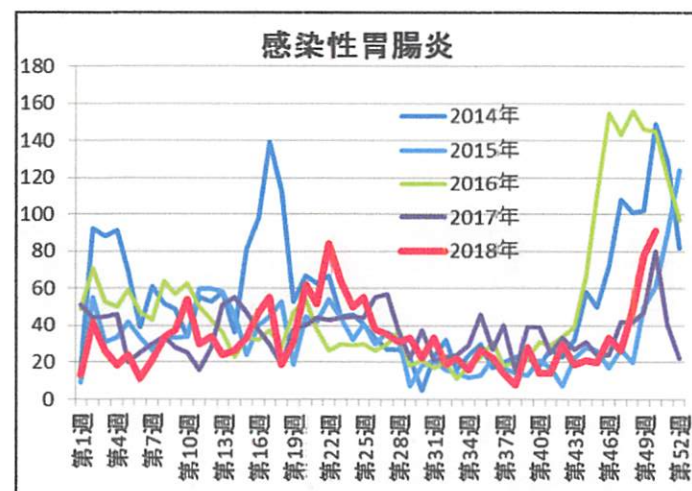
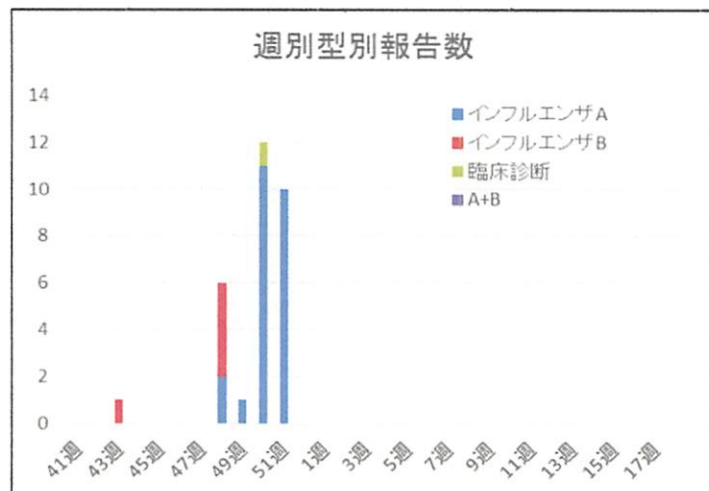
2018年50週 2018年12月10日より2018年12月16日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	1
ムンプス(おたふくかぜ)	
百日咳	5
溶連菌感染症	7
手足口病	5
ヘルパンギーナ	4
伝染性紅斑	11
感染性胃腸炎	91
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	3
伝染性膿痂疹(とびひ)	6
ヘルペス性口内炎	1
アデノウイルス感染症	1
RSウイルス感染症	
マイコプラズマ感染症	2
インフルエンザ(臨床診断含む)	12
インフルエンザA	11
インフルエンザB	
ヒトメタニューモウイルス	

50週はインフルエンザAの報告が12例ありました。西小4年生でクラス内感染があり、家族を介して小流行があります。51週になり、秦小の6年生で、やはりクラス内感染があり、小流行となっています。12月21日が終業式で、冬休みに入るの、大きく地域で流行が拡大する事はないと予想します。12月18日までの学校教育課よりの報告では、西小11名、秦小8名でした。また、感染源不明の成人例の報告も散見されています。インフルエンザを鑑別に入れて診療する必要があります。

百日咳は、真備地区の小学生の兄弟例(LAMP法陽性)と、西中学区の6年生(LAMP陽性)とその姉と弟です。姉と弟は臨床診断です。発熱がなく咳が激しい場合は、百日咳を鑑別する必要があります。百日咳が全例届出になり2018年は38例の報告がありました。決して珍しい病気ではありません。乳児がり患すると、重症になり命にかかわることがあります。3ヶ月になったらすぐに四種混合ワクチンを接種しましょう。

右下のグラフの様に、感染性胃腸炎の報告が増加しています。ノロウイルスによると思われる、嘔吐が主のウイルス性胃腸炎です。輸液が必要となる重症の症例は少なく、2~3日で軽快しています。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)